



市民がつくる環境都市こまき こまき環境広報

編集：こまき環境市民会議

快適で清潔なまちづくりは生態系の保護につながる！

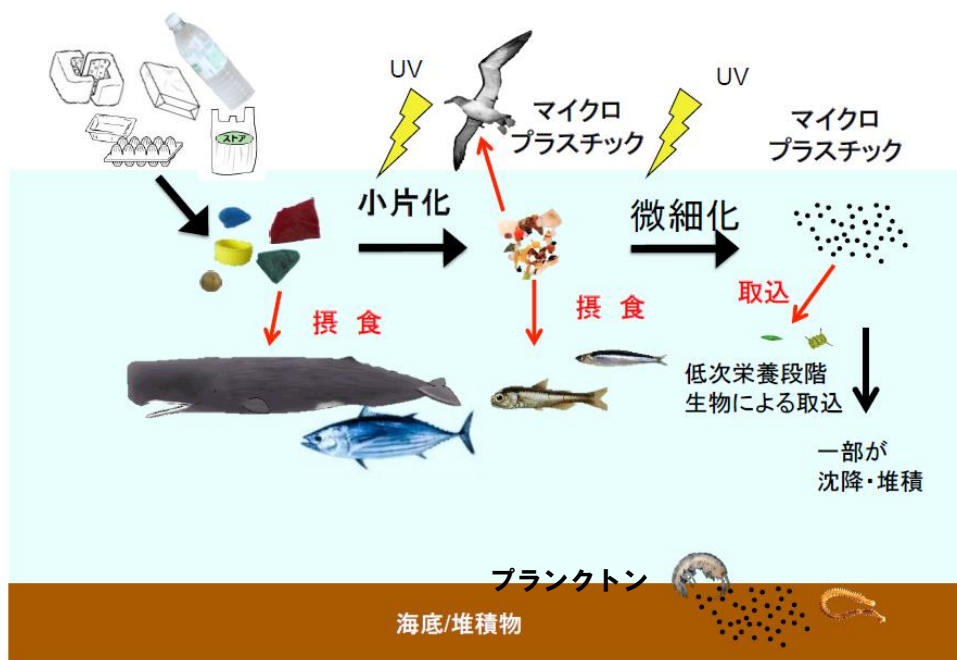


(WWFジャパンHPより)

私たちの日常生活の中で利用されているプラスチック製品・容器は、使用後にプラスチックごみ（プラごみ）となります。

プラスチック製品・容器は軽く、耐久性に優れているのが利点ですが、ポイ捨てにより、河川から海へ流れ出たプラごみは自然に分解されず、世界の海に漂っています。

『海洋プラごみは小さくなり生物に取り込まれていく』



(高田秀重東京農工大学教授の論文より)

プラごみには、レジ袋やペットボトル、漁網、浮きなどのサイズが大きいものから、紫外線や波で劣化し細片化したマイクロプラスチック（およそ5ミリ以下）と呼ばれる小さいものまであります。海に浮遊するマイクロプラスチックは、プランクトンなど小さな生物に取り込まれ、それを魚や鳥が餌にし、私たちはその魚たちを食べるといった恐ろしいことが起こってしまいます。

生態系保護のため、「プラごみ」のポイ捨ては絶対にやめましょう。

『最新情報！世界の対応』

2019年6月15日、16日に長野県軽井沢町で開催されたG20環境関係閣僚会合において、海洋プラスチックごみの削減に向け、各国が定期的に報告する枠組みを新設することになりました。また、大阪市でのG20サミットでは、「G20大阪首脳宣言」に「2050年までにプラスチックごみの海への流出をゼロにする」という目標が盛り込まれました。



小牧市環境キャラクター
エコリン

環境映画鑑賞会を開催します！

今年の映画は『人生フルーツ』

津端修一さん 90歳、英子さん 87歳、
風と雑木林と建築家夫婦の物語

愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの一隅で、雑木林に囲まれた平屋で暮らす夫婦のドキュメンタリー。ナレーションをつとめるのは女優・樹木希林さん。ふたりの来し方と暮らしから、この国がある時代に諦めてしまった本当の豊かさへの深い思索の旅が、ゆっくりとはじまります。



2016年 / 91分 (C) 東海テレビ放送

開催日：令和元年9月7日（土）午後1時30分～（午後1時開場）

場 所：まなび創造館 あさひホール

入場料：無料 ※要整理券

（整理券は8月15日から各市民センター、まなび創造館、環境対策課で配布します。1人2枚まで）

定 員：306名

こまき環境市民会議のメンバーになって、環境について一緒に活動しませんか？

興味がある方や一緒に活動したい方のご連絡をお待ちしております！

ホームページ：<http://komakikankiyoushimikaigi.jp/>

事務局：小牧市役所環境対策課（0568-76-1181）

会員のつぶやき

私たちの身勝手に便利さを求めすぎて動物や魚たちに思いもよらない苦しみを与えていると思うととても悲しくなりました。
この先どうしたらいいのかな・・・？

R1. 7. 1つぶやく

R1年7月